



学びと誇りが実感できるまち

～苦難と向き合う 取り組む
乗り越える もう一歩前へ！～

令和2年6月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人

夏草やつわものどもが夢の跡 (松尾芭蕉)

本年度は、若者たちが大きな目標として位置付け、毎日練習を重ね、めざしていたスポーツ大会や文化・芸能大会などが、新型コロナウイルス感染症防止のために、相次いで中止となっています。そのひとつ、甲子園球場で行われる夏の全国高校野球選手権大会も先月中止が決まりました。

忘れられない言葉があります。それは、東日本大震災が起きてから1年後に行われた春の選抜高校野球大会の選手宣誓です。

人は誰でも答えのない悲しみを受け入れることは苦しくてつらいことです。しかし、日本が1つになり、その苦難を乗り越えることができればその先に必ず大きな幸せが待っていると信じています。

日本中に届けます。感動、勇気、そして笑顔。見せましょう、日本の底力、絆を。我々高校球児ができること。それは全力で戦い抜き、最後まであきらめないことです。今、野球ができることに感謝し、全身全霊で正々堂々とプレーすることを誓います。

(平成24年3月：宮城県石巻工業高校 主将 阿部翔人選手)

さて、4月14日(火)から学校を休業にしておりましたが、本日(6月1日)より学校の教育活動を再開します。

学校生活において、新型コロナウイルス感染症防止の取り組みを徹底して行いますので、ご理解とご協力をお願いします。「3つの密」(①密閉、②密集、③密接)が重ならないように「教室の換気」「座席」「発表の仕方」などの工夫を行い、マスクの着用や手洗いの励行、アルコール消毒なども徹底します。

家庭においても、毎朝の検温・体調確認、十分な睡眠やバランスの取れた食事など、子供たちの健康管理を心掛けた感染防止生活ををお願いします。

京都大学IPS細胞研究所長である山中伸弥教授は、コロナウイルスとの闘いではなく、感染防止の努力をしつつ共存するという心持が大切であることを述べられています。

子供たちが休業中に「早く学校に行きたい、友達や先生と一緒に勉強したい、遊びたい」と言っていた願いをしっかりと受け止め、感染防止の努力・工夫を一生懸命行うとともに、子供たちが学びに向かう姿勢をともに育み応援していただきたいと思います。